

科目	英語研究	学年	第1学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

学習目標	英文構造を理解しながら、読解力を養う。
------	---------------------

副教材: COMET 基本文法定着ドリル

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	COMET 単元	テーマ	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
前期		英語のまとめ～WARM UP(4)	基本の復習	中学文法の基本事項を復習したのちに、that節から関係代名詞迄の英文法の基本を定着させる。	4	中間	○	○	○
		WARM UP(5)～WARM UP(10)	基本の復習		5		○	○	○
		1・2(1)	伝える内容を表す人に要求する(1)		6		○	○	○
		2(2)・3(1)	人に要求する(2) どのように[何をなど]～すればよいか(1)		7		○	○	○
		3(2)・4(1)	どのように[何をなど]～すればよいか(2) 文に説明を加える(1)		8		○	○	○
		4(2)・5	文に説明を加える(2) 「それ」と訳さないit		9		○	○	○
		6(1)・6(2)	「～するもの/こと」を表す(1)・(2)		10		○	○	○
	前期 授業評価						○	○	○
後期		7(1)・7(2)	過去の時をつなぐ(1)・(2)	過去完了形から仮定法までの高校英語の基本文法を定着させる。	9	中間	○	○	○
		7(3)・8(1)	過去の時をつなぐ(3) 人に何かをさせる動詞(1)		10		○	○	○
		8(2)・9(1)	人に何かをさせる動詞(2) 名詞を追加で説明する(1)		11		○	○	○
		9(2)・10(1)	名詞を追加で説明する(2) 名詞の説明を導く(1)		12		○	○	○
		10(2)・11(1)	名詞の説明を導く(2) 見る、聞く、感じる(1)		1		○	○	○
		11(2)・12(1)	見る、聞く、感じる(2) 「もしも」の世界を表す(1)		2		○	○	○
		12(2)	「もしも」の世界を表す(2)				○	○	○
	後期 授業評価						○	○	○

観点別評価の評価基準

3観点	評価方法																		
知識・技能	・定期考査・小テスト等	英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。																	
思考・判断・表現	定期考査・プロジェクト・プレゼンテーション・グループワーク等	さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることができること。																	
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度・提出物等	・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度。。設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。																	